【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【公開番号】特開2005-231213(P2005-231213A)
【公開日】平成17年9月2日(2005.9.2)
【年通号数】公開・登録公報2005-034
【出願番号】特願2004-43812(P2004-43812)
【国際特許分類】
Ｂ３２Ｂ　25/04　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ３２Ｂ　25/04

【手続補正書】
【提出日】平成18年6月12日(2006.6.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
スクリーン印刷における被印刷シート状体と、この被印刷シート状体の表面にゴム溶液がスクリーン印刷されかつ加硫されて接合一体化したゴム薄膜とで構成される複合シートであって、前記ゴム薄膜がドツト状体の集合体に形成されていることを特徴とする複合シート。
【請求項２】
打ち抜きにより所望の形状に加工され緩衝材として用いられる請求項１に記載の複合シート。
【請求項３】
緩衝材がディスクストッパーである請求項２に記載の複合シート。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
前記目的を達成するため、本発明の複合シートは、スクリーン印刷における被印刷シート状体と、この被印刷シート状体の表面にゴム溶液がスクリーン印刷されかつ加硫されて接合一体化したゴム薄膜とで構成されるとともに、前記ゴム薄膜がドツト状体の集合体に形成されていることを特徴とする。また、請求項２に係る発明は、前記複合シートを打ち抜きにより所望の形状に加工して緩衝材として用いることを特徴とし、請求項３に係る発明は、前記複合シートを緩衝材としてディスクストッパーに用いることを特徴とする。